

ISFJ *Inter-university Seminar for the Future of Japan*

ISFJ2018 中間発表会 活動報告書

文責：津川 紘輝

【日時】

2018年9月22日（土）

【会場】

明治学院大学白金キャンパス

【参加】

14大学24研究会15分科会54チーム

【概要】

中間発表会は、参加者の皆様が、12月8日と12月9日に開催される政策フォーラムに向けて政策提言論文を執筆する過程で、専門家であるコメンテーターの皆様から発表についてご意見をいただきます。そのご意見を参考に、より実現性が高く、かつ多角的な視点を含む政策提言論文にするための機会と位置付け開催いたしました。発表後に、質問やコンサルティングの時間を設け、論文執筆の最終段階に向け、疑問点や不安点を解消する機会としました。

【企画内容】

参加者の皆様による20分間の発表を踏まえ、質疑応答と意見シートを記入する時間を10分間設け、その後コメンテーターの皆様から10分間のご講評をいただきました。なおコメンテーターの皆様には前もって、参加者の皆様に事前に提出いただいた中間論文を読んでいただき、論文中の論理破綻、事実誤認などの基本構成および発表の不備、論文と発表間の齟齬の有無について確認していただき、忌憚のないご指摘をお願いいたしました。

分科会内のすべての班が発表を終えた後、1班につき20分間、コメンテーターの方と個別に相談するコンサルティングタイム設け、参加者の皆様が抱えている疑問などにお答えいただき、論文や発表の向上に向けたアドバイスをいただきました。また同時に、他チームとの交流により、意見を交換していただきました。

会の最後にはコメンテーターの皆様から総評をお一方10分ほどいただきました。

【責任者総評】

今回の中間発表会では、最終論文に向けて発表内容がより深まったものとなっており、コメンテーターの方々と有意義な議論が展開されていたように伺えました。一方で、より活発な議論や意見交換を求めていくことがより良い政策提言には不可欠であるため、参加者の皆様にも積極的な参加がしやすくなるようなイベントの提供に、運営委員共々努めて参ります。

なお、今回の中間発表会におきましては、一部会場で機械設備のトラブルによる時間の遅れが生じ、コメンテーターの皆様および参加者の皆様には多大なる御迷惑をお掛け致しました。深くお詫び致します。また、その際コメンテーターの方に不具合を直していただいたことについて、感謝の意を申し上げます。

これからも円滑なイベント運営に努めるとともに、参加者の皆様の研究活動を様々な面からサポートすべく活動して参ります。